



一 般 質 問

安全安心な本村の見守り協定の今後は



い い だ よ う じ
飯 田 洋 司
議 員

質問 本年5月に郵便局との見守り協定を数年越しで締結したが、現在までの実績と他に協定は望めないか伺う。

答弁 (総務部長) 郵便局員が業務中に本村の住民等の異変に気付いた場合、業務に支障のない範囲で情報を提供していただく協定を締結したわけだが、現在まで情報提供はない。また、他の見守り協定については、茨城コープ生活協同組合、生活協同組合パルシステム茨城、村内新聞店と協定を結び協力をいただいている。協定は結んでいないが、

村社会福祉協議会の配食サービスやヤクルト販売会社による独居老人宅へ、宅配に伴う見守りサービスも実施している。

去年配備した防災倉庫の
地域連携と利活用は

質問 防災倉庫の備蓄状況と今後の利活用について



答弁 (総務部長) 各小学校における想定被災人員、大谷小学校444人、安中小学校102人、木原小学校246人の1日分の食料を備蓄している。また、今後の活用方法

については、小中学校での防災教室や各地区などの防災訓練、村の防災訓練などで備蓄品を利活用していきたい。

みほふれ愛プラザについて

質問 地域交流館のウェブ予約は。

答弁 (教育次長) 公共施設のウェブ予約は、茨城県が市町村とともに茨城公共施設予約システムを運用しており、県内44市町村中23市町村が利用している。地域交流館のウェブ予約については、他の公共施設と合わせて経費や予約料金規定、システムの関係など導入に向けて調査検討していく。

質問 みほふれ愛プラザの時間延長と直売所の売り上げ及び来客者増加対策は。

答弁 (教育次長) 交流館の開館時間の延長については、

今後、18時以降の利用を求め利用者の要望を踏まえ検討していく。



答弁 (経済建設部長) 直売所の営業時間については、オープン前に十分協議し、また、運営の参考としたポケットファームどきどきつくば牛久店の営業時間などを参考に決定した。現在のところは、これまでと同じ営業時間で運営していきたい。今後の売り上げと来客者増加対策については、これまで同様、JA茨城かすみや株式会社まちづくり美浦等と意見交換を重ね、集客性と魅力を上げていく方針を検討していく。

「ヘルプマークとヘルプカード」について



やまざき さちこ
山崎 幸子
 議員

質問 精神障害を抱えている人、義足や人工関節の人、内
 部障害や難病の人、または、
 妊娠初期の人など、外部から
 は援助や配慮を必要としてい
 ることが分からないことがあ
 る。「ヘルプマーク」は、そ
 うした人々が周囲に配慮を必
 要としていることを知らせる
 ためのものである。
 また、「ヘルプカード」は
 免許証サイズで裏面に支援助
 して欲しいことなどを記入でき
 るようになっていて、本村で
 も「ヘルプマーク」と「ヘル
 プカード」を導入すべきと思
 うがいかがか。

答弁 (保健福祉部長) 「ヘ
 ルプマーク」は茨城県で現在
 導入を検討している状況にあ
 り、県の動向に合わせて検討
 していきたい。
 「ヘルプカード」は、本村
 においても早い時期に配布で
 きるように、現在準備を進め
 ている。



質問 「ヘルプカード」は、
 美浦村で現在準備をしている
 とのこと、うれしく思う。「ヘ
 ルプマーク」に関しては、茨

城県で現在導入を検討してい
 るとのことだが美浦村とし
 て、県に先駆けて導入したら
 どうか。



答弁 (村長) 県の動向が遅
 れるようであれば県に先駆け
 て、「ヘルプカード」の発行
 と一緒に「ヘルプマーク」も
 導入していきたい。

「乳がん自己触診用
 グローブ」について

質問 乳がんは自分で発見で
 きる唯一のがんであり、早期
 発見が重要である。それには

日頃から自己触診による身体
 の状況のチェックが大切であ
 る。「自己触診用グローブ」
 というものを装着すると、髪
 の毛1本の凹凸の違いまで分
 かるという。若い人がガンに
 侵された場合、非常に進行が
 速いので、そのグローブを20
 代で検診の機会の無い方や、
 育児や日々の生活で時間の取
 れない方に配布したらどう
 か。本村でも、このグローブ
 を導入すべきと思うが見解を
 尋ねる。

答弁 (村長) 医師の間でも
 納得し、良いものだというこ
 とになってから導入を考えたい。





一 般 質 問

聴覚障がい者対策について



はやし しょうこ
林 昌子
議員

質問 聴覚障害者手帳保持者人数は。そして聴覚に障がいのある方への窓口対応は。

答弁 (保健福祉部長) 現在 21 名で、おおむね口頭にて対応できているが、できない場合は筆談により、相手の意思を確認している。

質問 音が直接耳に届き、はつきり聞こえる、窓口対応用の磁気ループ導入自治体が増えている。磁気ループに対する認識は。

答弁 (保健福祉部長) 牛久市

や河内町で導入実績があることや、土浦市役所内には研修室や会議室、傍聴室に磁気ループシステムが設置されているようである。

質問 より快適な窓口対応のため磁気ループ導入を検討すべきと考えるがどのようにお考えか。

答弁 (保健福祉部長) 先進自治体の事例を参考に担当課窓口に設置し運用してまいりたい。

質問 会議用貸し出し制度に関しての見解は。

答弁 (保健福祉部長) 他市町村の利活用状況を調査研究してまいりたい。

質問 本年度中では美浦村の

み未導入だが、村長としてはいつごろ導入とお考えか。

答弁 (村長) 窓口対応の住民課、それから福祉介護課、最低 2 台位は早めの導入をしていきたい。

胃がん検診について

質問 現在の胃がん検診受診率と発症率は。

答弁 (保健福祉部長) 平成 27 年度胃がん検診を受けた方は 852 人で受診率 16.7% で、胃がん発症率は 0.12% となっている。

質問 ピロリ菌検査助成自治体が増えているがその現状は。

答弁 (保健福祉部長) 常総市、水戸市、牛久市が平成 27 年度から、鹿嶋市が 28 年度から、土浦市が 29 年度から実施している。

質問 本村の導入検討はなされているか。

答弁 (保健福祉部長) 導入については、国や県の見解や動向を見極め、近隣自治体を注視し、対応してまいりたい。

質問 便中抗原検査に関して認識されているか。

答弁 (保健福祉部長) 便の中のヘリコバクターピロリ抗原を検出することにより、ピロリ菌感染がわかる検査である。

質問 今後の受診率向上対策は。

答弁 (保健福祉部長) 未受診者の選定を行い個別干渉等を実施し、健診の大切さ、必要性についての認識を高めるような取り組みを継続し、受診率向上に努める。

水稻縞葉枯れ病のまん延防止について



しもむら ひろし
下村 宏
議員

数値だが、調査過程から、前年10%前後であった地域では、翌年30%以上の数値を示している地域が多く、本村では、霞ヶ浦沿岸の発病率が高い。

に対して、村から助成を行うよう検討する。

上下水道の健全性について

質問 7月の土浦地内建物火災で、消火栓からの消火活動の後、水道の水が茶色く濁ったとの問い合わせに対し、村はどのような対応をしたのか。

答弁 (経済建設部長) 上下水道課には、18件の問い合わせがあり、一時水道水として使用が出来ない等の理由により、水質を確認し、少額の水道料金を減免した。

ている。農業集落排水事業は、74・6%の加入率となっており、本年は、27件の申込を受けている。なお、舟子や大須賀津地区の施設等は、修繕費負担も増えており、処理場の統合等も視野に入れ、検討をしていく。

運動機能回復訓練室の設置について

質問 介護・医療費の削減に向けて、身体機能を向上させる為に、みほふれ愛プラザ多世代交流ルームに村民が自由に利用できる運動器具の設置が出来ないか。

質問 本村の基幹産業である稲作に、イネ縞葉枯れ病が発生し農家に不安を与えている。県内各地で年毎に倍々の勢いで増えており、収量に大きな影響が出てきている。このイネ縞葉枯れ病の本村及び近隣市町の発生状況を探る。

質問 ヒメトビウンカの防除に対して、薬剤等を助成している市町が県内にあるのか、また、縞葉枯れ病がまん延しないよう、生産者の意識を高める為に、村から助成すべきと考えるが。

質問 今後は速やかに広報車等で伝えるよう要望する。次に、公共下水道・農業集落排水事業の加入率と加入推進策及び施設の効率的な管理、有効利用について尋ねる。

答弁 (保健福祉部長) 身体運動の機能向上をさせる為、運動器具の活用をするには、利用者の体力に考慮した効果的な指導が必要とされている。安全性等考慮し、既存施設の有効利用を検討の上、施設の整備と体制を整えるよう努めていく。

答弁 (経済建設部長) イネ縞葉枯れ病は、ヒメトビウンカと言う昆虫が媒介するウイルス病で、穂に感染すると糊が正常に実らない。今年の発生状況は、つくば市等で、35%前後の数値を示している。本村では、木原地区で13%の

答弁 (村長) 本村の基幹産業である稲作農家に、ヒメトビウンカの防除を行う生産者

答弁 (村長) 本村の基幹産業である稲作農家に、ヒメト

答弁 (経済建設部長) 公共

発生状況は、つくば市等で、35%前後の数値を示している。本村では、木原地区で13%の

業である稲作農家に、ヒメト

下水道は、工事予定地区に戸別訪問等を行い加入促進をし

努めていく。



一 般 質 問

幹線道路にかかる樹木及び宅地・休耕地の雑草の草刈について



たけべ すみお
竹部 澄雄
議員

質問 幹線道路及び宅地・休耕地に生い茂る樹木の伐採と雑草の除草について村の対応は。

答弁 (経済建設部長) 幹線道路に隣接し交通の妨げになっている場合、官有地については速やかに村で対処し、民有地については原則として交通の支障を解消するよう所有者に指導している。美浦村環境美化条例に基づき適切な対応をお願いし、雑草除去が行われない場合は、文書により通知している。また、所有者が自ら除草することが困難な場合は、有償で村に草刈を

委託するようがされる。

光と風の丘公園の宿泊ロッジについて

質問 光と風の丘公園宿泊ロッジの管理と利用申し込み方法、利用件数及び利用者の公園施設利用数について

答弁 (教育次長) ロッジハウスはシルバー人材センターに業務委託して貸し出しの予約、準備、使用後の清掃管理を行っている。ロッジハウスの予約方法は、クラブハウスの窓口で申請書を提出し、使用料を納めていただく。遠方の方はファックスでも受け付けており、使用料を振り込んでいただく予約完了となる。平成28年度のロッジハウス利用件数は村内1,052人、稲敷郡内927人、その他242人で、ロッジに宿泊

し公園施設を使用した方は124人でテニスコートと多目的競技場を利用している。

災害時の救助活動について

質問 ドローンとオフロードバイクによる消防団員の救助訓練の実施について、3月の一般質問で検討するとの回答だったがその後の経過は。



答弁 (総務部長) 茨城県立消防学校にドローン等の無償貸与状況を確認したところ、平成29年度内での整備計画はなく、来年度、または再来年度に無償貸与を検討しているとのこと。村としても消防学

校の整備及び指導体制が整い次第、積極的に参加していきたい。また、いなほ消防署にあるオフロードバイクでの訓練については、訓練中の事故による怪我への対応等、事前の準備が必要のため、いなほ消防署と十分に協議したい。

生徒の安全を守る反射板ベスト着用について

質問 他の自治体で採用している反射板ベストの着用について本村での導入は。

答弁 (教育次長) 本村の新入学児童生徒への交通安全対策物品は、寄贈という形で行われており、反射板ベストの導入については費用負担が発生することから考えていないが、今後も交通安全教育に取り組むとともに、関係機関と連携し児童生徒の交通安全の確保のために努めてまいりたい。

防災行政無線の整備について



はなし こういち
葉梨 公一
 議員

質問 ここ数年、歴史的に経験したことのない局地的なゲリラ豪雨や豪雪、とりわけ一昨年の関東東北豪雨などで各地において、甚大な被害が生じている。また、昨今の北朝鮮による頻繁なミサイル発射実験によって、日本国民の安全が揺るがされている。村民の安全安心を確保する為の対策として、防災行政無線の整備について村の考えを伺う。

答弁 (総務部長) 有事の際の村民への情報伝達手段は、既に整備運用している災害に強い情報連携システムを

利用した防災メールの配信である。しかし、これは登録者のみしか情報が届かず、登下校など屋外の未登録者の方々には情報提供できないのが現状である。いづどこで起こるか分からない有事の際で幅広く、多くの村民に情報を迅速に提供しなければならぬ状況では、現在の防犯メールのみでは不十分であり、早急に関報系無線の設置を検討しなければならぬ状況となった。整備設置については、様々なメリット、デメリットがあるが各地のゲリラ豪雨や大規模地震の多発、北朝鮮のミサイル通過等を踏まえ、同報系防災行政無線の整備は必要と考える。

答弁 (村長) 整備については課題はあるが、先進自治体の例も含め、後から整備する当

村としては、より良い整備を考えていきたい。

今後の道路建設事業計画について

質問 今後の道路建設事業計画について、村民の交通安全並びに交通の利便性を図るため、県道上新田木原線の木原地先から阿見町島津地先へ抜ける農道(村道1001号線)を拡幅再整備し、県道竜ヶ崎阿見線へ接続させて土浦市、つくば市方面への通勤通学、あるいは付近の高速道路を利用する際に利便性の向上が図れる。また、本村は霞ヶ浦二橋建設促進期成同盟に参加しているが、この構想が実現した



際にもこの道路の利用価値が非常に高くなると思われるが、この計画の実現に向けて努力していただきたいと考えるが見解は。

答弁 (経済建設部長) 平成29年第2回定例会の全員協議会で報告したとおり、完成形、暫定形を比較検討して、最も有益となる形で布佐上宿線の整備を推進してまいりたい。また、霞ヶ浦二橋建設促進期成同盟の活動により、建設に向けて実現性が見えてきたところで改めて村道1001号線について検討していきたいと考える。





一 般 質 問

動物愛護管理について



まつむら ひろし
松村 広志
議員

「た」などの安易な理由からの、引き取り依頼を拒否できるようにした。飼い主の身勝手な無責任な飼育放棄が、近隣住民からの苦情や、多数の殺処分につながるがっている。本村の取り組みを伺う。

答弁 (経済建設部長) 犬

や猫は身近な動物であり、家族同様の存在として癒しと潤いを与えてくれる。一方で、飼育放棄や飼い主のマナー欠如、また無秩序な繁殖により捨てられ、結果、殺処分に至るケースが後を絶たない。「捨てず、増やさず、飼うなら一生」この認識が必要である。より周知するため、広報紙やホームページの掲載等で、地道に啓蒙してゆきたい。

質問 写真の子猫は、NPO

法人・犬猫共存推進会の方が

保護した時のものである。(子猫には右目にケガがあり、そして右前足の指がもぎ取られている) 米の人道協会が動物の虐待について重要なレポートをしている。それは、最も残酷な動物虐待は、家庭内暴力や児童虐待と重なって発生している、という事実である。



かな社会は、私たちの心の中から生まれる。本村の取り組みを伺う。

答弁 (保健福祉部長) 人と

動物の、調和のとれた愛情ある社会の推進はとても大切なことである。今後も本村の安定した発展に繋げるために、村民の方々への深いご理解に努めて参りたい。

「買い物弱者対策について」

質問 交通環境や生活事情等により、買い物に不便を来している方のために、食品販売車両の検討はどうか。

答弁 (保健福祉部長) 導入

された自治体では採算や運営面で苦慮しているケースが多いようである。本村では、従来のコンビニの宅配サービスや、デマンドタクシーの利用等の充実を検討して参りたい。

国内でも動物虐待と犯罪について、今までに無差別や連続殺人を犯した凶悪犯たちは皆、残酷な動物虐待を行っていた、との報告がされている。いま、ひとと動物の繋がりが問われている。温かな共生社会を目指すことは、本村の治安と安定に繋がる。平和で豊

質問 「世界でいちばんかわいい花」という本をご存知だろうか。これは、ある女子高生たちが、ペット殺処分ゼロを目指し活動する中、処分されたペットたちの残された灰と共に、咲かせる美しく悲しい花の話である。国の統計によれば、平成27年度の犬猫殺処分数は、約9万2千匹となっている。過去10年間の推移を見れば、約三分の一にまで減少している。しかし、これは保健所の引き取り数が減少していることにも要因がある。動物愛護法の改正は保健所に対し、「可愛くなくなっ

国保のゆくえは？



おかざわ きよし
岡沢 議員

質問 平成30年度以降、国保の運営主体が、市町村から都道府県に移行する。保険税率の算定についてどう変わるのか。

答弁 (保健福祉部長) 現在医療費分で4方式、後期高齢者支援分で4方式、介護分で2方式を採用しているが、所得割と被保険者数均等割の2方式を第1案に、さらに世帯平等割を加えた3方式を第2案として決定したい。

質問 税率そのものはどうなるのか。

答弁 (保健福祉部長) 県から示された市町村標準保険料率を参考に決定したい。

質問 国保事業費納付金の算定について、国が示した算定ガイドラインでは3つの算定方式を設定されているが、本村として、どの方式が望ましいと考えるのか。

答弁 (保健福祉部長) 市町村ごとの医療費水準と所得水準を考慮した算定方法が望ましい。



質問 財政調整交付金(普通調整交付金)、高額医療費共同事業費交付金、保険財政共同安定化事業交付金、一般会計の財政安定化事業繰入金等はどう変わるのか。

答弁 (保健福祉部長) 県からの普通調整交付金は保険給付費交付金となる。高額医療費共同事業費交付金、保険財政共同安定化事業交付金は廃止されるが、30年度以降は県が交付金、納付金のしくみで財政調整を行う。財政安定化事業繰入金は30年度以降も交付税措置があると思われる。

質問 一般会計からの法定外繰入額の水準は変わるのか。

答弁 (保健福祉部長) これまで被保険者の保険税負担軽減のため税率を据え置き、一般会計からの繰入金に依存してきたが、それが一般会計にとって大きな負担となっている。



税率を上げるとは加入者にとって負担増となるが、国の運営方針に沿って保険税率を見直し、法定外繰入金の縮減に努めたい。

質問 国民健康保険条例の改正時期はいつか。事前の議会への説明は。

答弁 (保健福祉部長) 平成30年第1回定例会で改正を行いたい。議会への説明は、本年12月定例会で考えている。